

令和4年度 第4回可美小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月9日（木）10：00～12:00
- 2 開催場所 可美小学校 多目的ホール
- 3 出席委員 須佐勝己会長 大畑耐智子副会長 朝比奈直 内山和博 田中亜希子
河合さくら（学校支援CD兼務） 高柳桃子（学校支援CD兼務）
- 4 欠席委員 中村裕康
- 5 オブザーバー 小野田康弘（浜松市議会議員）
土屋明久（可美協働センター長）
- 6 学 校 中村孝夫（校長） 夏目聡美（教頭） 長谷川明美（主幹教諭）
伊藤昌代（CS担当教諭） 河合昭子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 河合昭子
- 10 議長の選出 今回の議長は大畑副会長
- 11 協議事項 (1) 学校関係者評価
(2) 来年度の学校運営の基本方針の説明
(3) 学校運営協議会の自己評価
- 12 会議記録

司会の夏目教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価

長谷川主幹教諭より資料に基づき説明があった。

学び合う子…昨年度より評価が高くなっている。（教員 子ども）

認め合う子…昨年度より良くなっている。安心して楽しく学校生活を送れている。

高め合う子…運動や食べ物の好き嫌いについては子どもの評価高いが、保護者、教員の評価は下がっている。

委員からは、以下の発言があった。

○保護者の見方が少し厳しめであるように思う。キャリア教育についても、保護者と教員の評価のギャップは何なのか？（内山委員）

○あいさつについて。自分からあいさつするのが苦手な子もいるので、こちらから声を掛ける。地域の方々からも子ども達に声を掛けてもらうのがよいと思う。（須佐会長）

○給食での好き嫌いについて。家でも好き嫌いがあるので、給食では食べてほしい。

（田中委員）

→給食は今は時間で区切っている。工事のため調査できていないが、残菜は減らない。

（校長より）

- 学校での取り組み キャリア教育について、親の評価が低い。キャリア教育の意義が保護者に伝わっていない。もっと伝わるといいと思う。(河合委員・高柳委員)
- キャリア教育というのがどのようなものか親に伝わるように発信する。(小野田氏)
→家庭への啓発について あいさつ運動、キャリア教育等 学校だより・ブログで発信していく。(校長)
- 保護者と子どもとの評価の差はコロナのせいもあるのか?
参観会、体育大会、音楽会等通常に戻れば、評価もよくなっていくのではないか。(大畑副会長)
→学校の取り組みをアピールする方法を提案してほしい。(長谷川主幹教諭)

(2) 来年度の学校運営の基本方針の説明

資料に基づき、校長より説明があった。

子どもの将来を見据えた教育課程編成

可美小には受け身の子が多いので、生きて働く力を育てたい。

学校教育目標「美しい心でともに未来に向かって輝く子」を継続しながら発展させる。

全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価

資料の通り、須佐会長より説明があった。

評価項目3については今後の協議会で熟議していきたい。

13 連絡事項

夏目教頭より朝比奈委員と中村委員が今年度で退任されるとの連絡があった。

(1) 夢育やらまいか事業報告

今年度事業計画の通り、実施することができた。

(2) 令和5年度第1回学校運営協議会

令和5年5月17日(水) 10:00~12:00 多目的ホール

鈴木陽子氏よりCS1年目を終了するに際してお話があった。

CS1年目は学校の良きパートナーとして学校を知る、教育を知る、質問をしていただくことが第一歩であり、それらが達成できた。

キャリア教育の理念、具体的な活動をつなげてみていただく、知っていただく。これが2年目。皆に広める。解決策を考え提示する。これらの力をつけていきたい。